

科目名	世界遺産地理 I						
科目名(英)	World Heritage I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	若松 昌枝		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行会社にてカウンターセールスとして勤務		
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	世界遺産の成り立ちや登録申請、登録基準などの基礎知識を学ぶ。また、主に国内の世界遺産1つ1つの背景や歴史、自然などを学ぶと同時に、関連する世界遺産と比べながら、世界遺産検定3級の取得を目標とする。「訪れる」や「見る」だけでは知り得なかった、深く学ぶ上での観光地の魅力を知る機会とする。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					世界遺産とは何かを簡潔に説明することができる	
	○					日本の全ての世界遺産の所在都道府県を答えることができる	
	○	○				日本の世界遺産を3つ挙げ、それぞれの登録基準や、魅力について簡潔に説明することができる	
	○	○				海外の世界遺産を3つ挙げ、それぞれの登録基準や、魅力について簡潔に説明することができる	
			○			世界の自然や文化の価値に気づき、旅の魅力の1つとして発信することができる	
テキスト・教材 参考図書	「きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定3級公式テキスト」 NPO法人世界遺産アカデミー						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	世界遺産とは				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	2	世界遺産の基礎知識① (世界遺産誕生のきっかけ、概念、登録)				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	3	世界遺産の基礎知識② (登録申請、登録基準、ユネスコ)				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	4	世界遺産の基礎知識③ (世界遺産と観光、負の遺産、危機遺産)				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	5	自然遺産 (知床、白神山地、セレンゲティ、サガルマータ)				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	6	自然遺産 (小笠原諸島、屋久島、ガラパゴス、グランドキャニオン)				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	7	日本の文化遺産 (平泉、日光の社寺)				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	8	日本の文化遺産 (富士山、富岡製糸場)				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	9	日本の文化遺産 (白川郷、古都京都、古都奈良、法隆寺)				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	10	日本の文化遺産 (紀伊山地の霊場、姫路城、石見银山)				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	11	日本の文化遺産 (厳島神社、原爆ドーム、琉球王国)				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	12	日本の文化遺産 (沖ノ島、天草地方のキリシタン)				テキストの該当箇所を読んでおくこと(0.5時間)	
	13	検定模擬試験 1回目 解答と解説				模擬試験の復習をし、検定に備えること(1.5時間)	
	14	検定模擬試験 2回目 解答と解説				模擬試験の復習をし、検定に備えること(1.5時間)	
15	検定模擬試験 3回目 解答と解説				模擬試験の復習をし、検定に備えること(1.5時間)		
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する (2) 検定の模擬試験を3回実施する (3) ノート提出を行う。 以下を下記の割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	○				80%
	模擬試験	○	○				10%
	ノート提出		○		○		10%
履修上の注意	検定の日程により、模擬試験実施日が前倒しになる場合がある 出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない						

科目名	観光業界概論						
科目名(英)	Introduction to Sightseeing						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	三笥 秀一郎		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行会社にて営業職、添乗員、商品企画として勤務		
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	旅行業界の概要、職種及び業務内容の理解、企業の研究を行い、自身の就業する方向性を認識し、次年度の就職活動に活かす。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				旅の5大要素(交通、宿泊、食事、買物、観光)を理解することができる。	
		○				旅行業界の概要(業界現状、魅力、やりがい)を理解することができる。	
	○					旅行会社の職種(企画、営業、接客、手配、添乗)を理解することができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	旅行業界の全体像を知る①					
	2	旅行業界の全体像を知る②			前回授業内容の復習(0.5時間)		
	3	旅行会社の職種の理解①					
	4	旅行会社の職種の理解②			前回授業内容の復習(0.5時間)		
	5	主要旅行会社の概要					
	6	旅行会社の形態と種類			前回授業内容の復習(0.5時間)		
	7	他業界と旅行業界の関係性					
	8	業界の求める人材の把握とまとめ			授業プリントとノート内容の整理(1.5時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記) (2)自分の考えを積極的に発言する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				80%
	授業内の発言				◎		20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	観光演習						
科目名(英)	Sightseeing Exercise						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	大岡 牧代		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事		
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	旅行業界で働くうえで、旅行行程作成のための知識は必須である。 この授業では、JR時刻表の使い方を習得し、旅行行程の作成を演習する。 併せて、前期に学習した運賃・料金計算および日本国内の観光地理知識の定着を目指す。						
授業形式	講義： △	演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					JR時刻表の構成と基本的な使い方が把握できている。	
		○				JR時刻表を使って、鉄道及びその他の運輸機関を利用する場合の行程作成ができる。	
		○				自然景観や世界遺産など、観光資源になり得るものを説明することができる。	
	○					各都道府県の観光資源を知り、その特徴や所在地が把握できている。	
			○			日本各地の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	「JR時刻表」2022年4月版 株式会社交通新聞社						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	JR運賃・料金計算の復習① — 運賃計算			授業内で配布したプリントの練習問題を解き直し、復習すること。(1時間)		
	2	JR運賃・料金計算の復習② — 料金計算			授業内で配布したプリントの練習問題を解き直し、復習すること。(1時間)		
	3	JR運賃・料金計算の復習③ — 料金計算			授業内で配布したプリントの練習問題を解き直し、復習すること。(1時間)		
	4	運輸業界・鉄道業界の概要、JRの概要			運輸業界にはどのような種類、どのような会社があるか、調べてみる。(0.5時間)		
	5	JR時刻表の構成と使い方			JR時刻表の構成を再確認し、基本的な使い方を復習すること。(0.5時間)		
	6	JRの路線と列車			鉄道各社が運行する観光列車について、インターネット等を活用し、調べてみる。(0.5時間)		
	7	JR時刻表の使い方① — 行程作成(JR乗り継ぎ) 国内観光地理① — 北海道地方			練習問題を解き直すこと。また、授業で出てきた都道府県およびその観光資源を地図帳で確認すること。(1時間)		
	8	JR時刻表の使い方② — 行程作成(JR乗り継ぎ) 国内観光地理② — 東北地方			練習問題を解き直すこと。また、授業で出てきた都道府県およびその観光資源を地図帳で確認すること。(1時間)		
	9	JR時刻表の使い方③ — 行程作成(JR・その他運輸機関) 国内観光地理③ — 関東地方			練習問題を解き直すこと。また、授業で出てきた都道府県およびその観光資源を地図帳で確認すること。(1時間)		
	10	JR時刻表の使い方④ — 行程作成(JR・その他運輸機関) 国内観光地理④ — 中部地方			練習問題を解き直すこと。また、授業で出てきた都道府県およびその観光資源を地図帳で確認すること。(1時間)		
	11	JR時刻表の使い方⑤ — 行程作成(JR・その他運輸機関) 国内観光地理⑤ — 近畿地方			練習問題を解き直すこと。また、授業で出てきた都道府県およびその観光資源を地図帳で確認すること。(1時間)		
	12	JR時刻表の使い方⑥ — 行程作成(JR・その他運輸機関) 国内観光地理⑥ — 中国地方			練習問題を解き直すこと。また、授業で出てきた都道府県およびその観光資源を地図帳で確認すること。(1時間)		
	13	JR時刻表の使い方⑦ — 行程作成(JR・その他運輸機関) 国内観光地理⑦ — 四国地方			練習問題を解き直すこと。また、授業で出てきた都道府県およびその観光資源を地図帳で確認すること。(1時間)		
	14	JR時刻表の使い方⑧ — 行程作成(JR・その他運輸機関) 国内観光地理⑧ — 九州・沖縄地方			練習問題を解き直すこと。また、授業で出てきた都道府県およびその観光資源を地図帳で確認すること。(1時間)		
15	日本の観光資源まとめ			後期期末試験に向けて、学習範囲の復習をしておくこと。(2時間)			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 授業内で配布する演習プリントを定期的に回収し評価する。 (3) 課題提出を1回課す。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	演習プリント	○	◎		◎		20%
	課題	◎	◎		◎		20%
履修上の注意	出席が10回満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	接客業務基礎						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	若松 昌枝		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行会社にてカウンターセールスとして勤務		
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	店頭販売では、旅行パンフレットの内容を把握し、交通手段やホテル、料金の案内をしながら、予約や手配を行う。接客販売時でのトーク(案内事項、予約事項)力やマナーを身に付けることが求められる。この授業では、実際のパンフレットを使用し、ロールプレイングを通して、接客販売業務を学ぶ。また、2年次の「接客業務応用」と「接客スキルコンテスト」へ繋がる内容とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				JR時刻表、航空時刻表を使い、時刻や手続きの案内ができる。	
	○	○				旅行パンフレットを使用して、旅行代金の説明や案内ができる。	
	○	○				ビジネスパックや東京ディズニーリゾートのパンフレットの説明ができる。	
				○		接客時の姿勢や振る舞い、パンフレットの指し方など、お客様へ配慮の行き届いた対応ができる。	
	○		○			ロールプレイングを通して、接客時における基本的なコミュニケーションをとることができる。	
テキスト・教材 参考図書	旅行パンフレットを使用 JR時刻表						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	カウンター(店頭販売)の仕事とは 対面販売に求められること			旅行パンフレットを持ってくる指示を出すため、主力商品等のリサーチをしていくこと(0.5時間)		
	2	旅行パンフレットについて (パンフレットの見方、概要、時刻表の使い方)			時刻表の使い方を復習しておくこと(0.5時間)		
	3	ビジネスパック商品について (JR利用と航空利用の違いと商品概要)			指定ホテルのセールスポイントについて調べていくこと(0.5時間)		
	4	ビジネスパック商品の販売① (挨拶→商品の説明→手配までの流れ)			ビジネスパック商品の内容について復習しておくこと(0.5時間)		
	5	ビジネスパック商品の販売② (キャンセル料やその他の案内、ロールプレイング)			ロールプレイングを通しての改善点を挙げておくこと(0.5時間)		
	6	ビジネスパック商品の販売③ (ロールプレイング)			ロールプレイングを通してのまとめや復習をしていくこと(0.5時間)		
	7	東京ディズニーリゾート商品について① (商品概要)			指定ホテルのセールスポイントについて調べていくこと(0.5時間)		
	8	東京ディズニーリゾート商品について② (ホテル選択と料金について)			東京ディズニーリゾート商品の内容について復習しておくこと(0.5時間)		
	9	東京ディズニーリゾート商品の販売① (挨拶→商品の説明→手配までの流れ)			ロールプレイングを通しての改善点を挙げておくこと(0.5時間)		
	10	東京ディズニーリゾート商品の販売② (料金案内までの販売練習)			ロールプレイングを通しての改善点を挙げておくこと(0.5時間)		
	11	東京ディズニーリゾート商品の販売③ (トーク力とマナーを意識した販売練習)			ロールプレイングを通しての改善点を挙げておくこと(0.5時間)		
	12	東京ディズニーリゾート商品の販売④ (ロールプレイング)			ロールプレイングを通してのまとめや復習をしていくこと(0.5時間)		
	13	海外商品について			海外商品について復習しておくこと(0.5時間)		
	14	評価試験 (ロールプレイング)					
15	評価試験 (ロールプレイング)						
評価方法	(1) ロールプレイングでの評価試験を行う。(評価のポイントは授業内で明示する) (2) レポート提出(2回) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	評価試験	○	◎	○	○		70%
	レポート	○	○		○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	英語検定(TOEIC)対策 I B				
科目名(英)	TOEIC Test Strategies I B				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	和田 菜穂
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系航空会社にて客室乗務員として勤務
対象学科・学年	トラベル科1年				
授業概要	国際国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるBレベルTOEIC730点以上スコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標	<p>社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。</li> <li>商談を始める前のアイスブレイキングで用いられる一般的な話題(天候、最近の出来事等)について、理解することができる。</li> </ul> <p>社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>留守電のメッセージを聞き、相手の用件や電話番号等が聞き取れる。</li> <li>電話がかかってきた際に相手の名前を聞き、担当者に取り次ぐことができる。</li> </ul> <p>英語の履歴書を作成することができる。(書く)</p>				
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル 文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Economics, Management, and International Business他				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	導入、夏休み明け復習テスト			
	2	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	3	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(品詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	4	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(代名詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	5	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	6	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(比較)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	7	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(形容詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	8	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	9	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(副詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	10	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(時制)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	11	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	12	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(態、コロケーション)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	13	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(不定詞、動名詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	14	中間テスト(TOEIC)①			
	15	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(接続詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	16	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(接続詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	17	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(前置詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	18	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	19	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(関係詞)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	20	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(語法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	21	TOEIC対策 リスニング(OL)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	22	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(語法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。
	23	TOEIC対策 Part5&Part6 文法(語法)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。
24	TOEIC直前模擬試験 Q&A			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。	

25	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
26	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
27	TOEIC対策 リスニング(OL)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
28	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
29	TOEIC対策 リスニング(OL)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
30	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
31	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
32	中間テスト(TOEIC)②						
33	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
34	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
35	TOEIC対策 リスニング(OL)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
36	TOEIC対策 Part7実践問題	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
37	TOEIC対策 Part7実践問題(解説)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
38	TOEIC直前模擬試験 Q&A	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のやり直しを徹底的に行うこと。					
39	Merry X'mas Entertainment						
40	Cover letter & Resume	USBを持参すること					
41	Cover letter & Resume	USBを持参すること					
42	Cover letter & Resume	USBを持参すること					
43	Cover letter & Resume	USBを持参すること					
44	Cover letter & Resume	USBを持参すること					
45	定期試験対策 学期総括						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを中間(10月)、学期末に実施する。(12月実施) 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、550点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		5%
	Cver letter&Resume提出	◎	○				5%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						



授業計画	22	リスニング、大問2(長文の語句補充)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	23	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	24	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	25	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	31	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	32	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	33	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	34	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	35	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	36	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	37	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	38	リスニング、大問3(長文の内容一致選択)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	39	リスニング、英作文対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	40	リスニング、英作文対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	41	リスニング、英作文対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	42	英検2級模試筆記	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	43	英検2級模試リスニング、筆記解説①	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	44	筆記解説②	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	45	後期まとめおよび期末試験対策					
	評価方法	<p>(1)学内で英検を実施する。英検2級完全合格を90点、1次合格を85点、1次不合格のバンド-1~-3は80点~75点、バンド-4~-6は75点~70点、バンド-7以下は65点とする。</p> <p>(2)定期試験(筆記)を実施する。</p> <p>(3)小テストを実施する。</p> <p>以上を下記の観点・割合で評価する。</p> <p>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎	○				60%
小テスト		◎	○				40%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(準2級)対策 I B				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies I B				
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	野々村賢一
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	英語講師21年
対象学科・学年	トラベル科1年				
授業概要	国際化および情報化社会において、英語による情報や考えを理解し要点をとらえることや、英語で発信することは大変重要である。この授業では、社会で必要とされる実践的英語力の養成と実用英語技能検定準2級合格、またTOEICスコア100点アップを目指す。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○			社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、60語程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○			電話や対面の会話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○			与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
○					目標
テキスト・教材 参考図書	英語検定準2級過去問				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			
	2	英検対策 大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	3	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	4	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	5	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	6	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	7	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	8	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	9	英検模擬試験 問題1 筆記			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	10	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	11	英検模擬試験 解答&解説			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	12	英検本試験解説 大問1			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	13	英検本試験解説 大問2			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	14	英検本試験解説 大問3			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	15	英検本試験解説 大問3			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	16	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	17	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	18	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	19	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	20	オリエンテーション、大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	21	英検対策 大問1,2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	22	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
	23	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。
24	英検対策 大問4(長文)、リスニング			予習、復習を行って授業に臨むこと。	

	25	英検対策 大問4(長文)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	26	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	27	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	28	英検模擬試験 問題1 筆記	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	29	英検模擬試験 解答&解説	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	30	英検模擬試験 解答&解説	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	31	英検模擬試験 解答&解説	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	32	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	33	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	34	TOEICテスト概要説明 TOEIC Part5	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	35	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	36	英検対策 大問1.2(語彙、短文の語句空所補充)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	37	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	38	英検対策 大問3(長文の語句空所補充)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	39	英検対策 大問4(長文)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	40	英検対策 大問4(長文)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	41	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	42	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	43	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	44	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
	45	後期のまとめ	予習、復習を行って授業に臨むこと。				
評価方法	(1)学内で英検を実施する。英検準2級完全合格を85点、1次合格を80点、1次不合格のバンド-1は75点、バンド-2は73点、バンド-3は70点、バンド-4は68点、バンド-5は65点、バンド-6は63点、バンド-7以下は60点とする。 (2)定期試験(筆記)を実施する。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	INFINI					
科目名(英)	INFINI					
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	若松 昌枝	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行会社にてカウンターセールスとして勤務	
対象学科・学年	トラベル科1年					
授業概要	INFINIは、業界で使われる端末の1つである。都市コードや航空会社コード、空席照会、PNR作成、運賃照会を学び、予約・運賃に関する基本的な内容の習得をする。INFINI検定予約・運賃(中級)の取得を目指す。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○	○			INFINI端末を使用し、旅程の空席照会をし、画面の説明をすることができる
	○	○	○			INFINI端末を使用し、PNRを作成することができる
	○	○	○			INFINI端末を使用し、運賃照会をし、画面の説明やルールの照会ができる
テキスト・教材 参考図書	「INIFNI Reservation and Fare Pricing」 INFINI Travel Information,INC.					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	INFINI概要説明 INFINIとは 起動とサインイン、サインアウト			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	2	航空会社とGDSについて			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	3	航空運賃について			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	4	情報検索			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	5	空席照会、ダイレクトアクセス			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	6	スケジュール照会 PNR作成			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	7	PNR作成 (必須項目、フライト予約)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	8	PNR作成 (フライト、ネーム、連絡先、担当者入力)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	9	PNR作成 (入力と完了、完了後の画面確認)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	10	PNR作成 (総復習)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	11	PNR作成 (ロールプレイング)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	12	国際航空運賃概要			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	13	運賃システム概要			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	14	Low Fare Searchとは 運賃確認方法			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	15	自動運賃計算 (公示運賃)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	16	自動運賃計算 (特別運賃)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	17	PNRからの運賃規則確認、マイルージ、通貨換算			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	18	運賃表示 (基本入力、オプション、規則)			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	19	運賃総復習			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	20	検定対策問題			授業内容の復習をしておくこと(0.5時間)	
	21	模擬試験 第1回 解答と解説			模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと(1.5時間)	
	22	模擬試験 第2回 解答と解説			模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと(1.5時間)	
23	模擬試験 第3回 解答と解説			模擬試験の復習をして、検定に備えておくこと(1.5時間)		

<b>評価方法</b>	(1)小テスト(理解度テスト)を3回実施する。(2) 模擬試験を3回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(理解度テスト)	○	○	○			30%
	模擬試験	○	○	○			70%
<b>履修上の注意</b>	出席が16回に満たない場合は、単位付与しない						

科目名	取扱管理者合宿						
科目名(英)	National examination Training camp						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	国内旅行業務取扱管理者の取得に向けての対策と対象科目の前期学習分の総復習とするため、学外での勉強合宿を実施。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					旅行業法の内容を総復習し、理解を深めることができる。	
	○					旅行業約款・各種約款の内容を総復習し、理解を深めることができる。	
	○					国内実務(国内地理、国内運賃料金)の内容を総復習し、理解を深めることができる。	
		○					模擬試験を通して設問を理解し、正答できる。
テキスト・教材 参考図書	「U-CANの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン 2022年版」ユーキャン自由国民社 旅行実務シリーズ「国内観光資源」JTB総合研究所 「旅に出たくなる地図 日本」帝国書院						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	前期総復習－旅行業法の復習、当該問題の理解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(2時間)		
	2	前期総復習－旅行業約款・各種約款の復習、当該問題の理解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(2時間)		
	3	前期総復習－国内実務(国内地理分野)の復習、当該問題の理解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(2時間)		
	4	前期総復習－国内実務(国内運賃料金分野)の復習、当該問題の理解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(2時間)		
	5	観光資源特別講座(確認テスト及び分野別に観光資源を整理学習)			配布資料にて予習しておくこと(3時間)		
	6	模擬試験(1回目)			各科目を復習しておくこと(3時間)		
	7	模擬試験(2回目)			前回模擬試験内容を復習しておくこと(2時間)		
	8	模擬試験(3回目)			前回模擬試験内容を復習しておくこと(2時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)各テーマの確認テスト (2)模擬試験を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	◎				50%
	模擬試験		◎		○		50%
履修上の注意	合宿不参加者は単位分の追加補講を実施。補講時に実施する模擬試験により評価。						

科目名	添乗実務					
科目名(英)	Tour conductor Practice					
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	松藤 諭	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行会社で営業、添乗、管理を経験	
対象学科・学年	トラベル科1年					
授業概要	国内添乗業務の実務、添乗に関する旅行業法、約款を学習、理解を深める。また、実際の添乗実務を体験し、将来チーフ添乗業務を遂行できるようにする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				国内添乗業務の実務内容を理解することができる。
	○	○				添乗業務に関連する法令、約款を理解することができる。
	○	○				国内旅程管理業務を行う主任者の資格を取得できる。
			○	○		添乗実務演習で添乗員の内容を把握し、行動できるようにする。
テキスト・教材 参考図書	一般社団法人日本添乗サービス協会 旅程管理研修教本 添乗業務の基本・国内添乗業務・海外添乗業務 一般社団法人日本旅行業協会 旅程管理研修教本旅程業務に関する旅行業法・企画旅行約款の解説					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス説明、企画旅行と旅程管理業務				
	2	授業概要・シラバス説明、旅行業界の変遷と現況			事前にテキストを読んでおくこと(0.5時間)	
	3	旅程管理責任			事前にテキストを読んでおくこと(0.5時間)	
	4	添乗員の役割、添乗業務の基本			事前にテキストを読んでおくこと(0.5時間)	
	5	旅程保証制度①(趣旨、目的、内容)			事前にテキストを読んでおくこと(0.5時間)	
	6	運輸機関別添乗業務について①(貸切バス)			事前にテキストを読んでおくこと(0.5時間)	
	7	旅程保証制度②(変更保証金制度)			事前にテキストを読んでおくこと(0.5時間)	
	8	運輸機関別添乗業務について②(航空機)			事前にテキストを読んでおくこと(0.5時間)	
	9	特別保証責任			事前にテキストを読んでおくこと(0.5時間)	
	10	運輸機関別添乗業務について③(JR)			事前にテキストを読んでおくこと(0.5時間)	
	11	業法・約款について			確認テストに向けて復習をしておくこと(1.5時間)	
	12	運輸機関別添乗業務について④(船舶)			事前にテキストを読んでおくこと(0.5時間)	
	13	確認テスト(旅程管理業務)			復習をしておくこと(1時間)	
	14	添乗業務全般の確認(2, 4, 6, 8, 10, 13コマの復習)			事前にテキストを読んでおくこと(0.5時間)	
	15	事故・トラブル発生時の対処			事前にテキストを読んでおくこと(0.6時間)	
	16	国内旅程管理と業務総括			復習をしておくこと(2時間)	
	17	日帰り添乗実習(概要、担当割、レジュメ確認)			レジュメを確認しておくこと(0.6時間)	
	18	日帰り添乗実習				
	19	日帰り添乗実習				
	20	日帰り添乗実習				
	21	日帰り添乗実習				
	22	旅程管理研修修了試験準備			復習をしておくこと(1時間)	
23	旅程管理研修修了試験			復習をしておくこと(1時間)		

<b>評価方法</b>	(1)旅程管理研修修了試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	旅程管理研修修了試験	○	○	○	○		100%
<b>履修上の注意</b>	出席が16回に満たない場合は、単位を付与しない。 日帰り添乗実習不参加の場合は、旅程管理研修修了試験を受験できない場合がある。						

科目名	鉄道業界概論					
科目名(英)	Railway industry Introduction					
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	高橋 榮二	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行会社にて、旅行企画及び法人営業に従事	
対象学科・学年	トラベル科1年					
授業概要	鉄道に関する基礎的な知識を習得すると同時に、鉄道業界の社会的役割、現状と将来展望を理解する。主要各社の経営内容を研究し、旅行業との関わりを学ぶ。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					鉄道に関わる名称、用語を理解し説明することができる。
		○				鉄道業界の仕事について理解し説明できる。
		○		○		鉄道を利用した旅行の企画ができる。
テキスト・教材 参考図書	「JR時刻表」2022年4月版 株式会社交通新聞社					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	オリエンテーション			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	2	交通機関としての鉄道の役割			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	3	鉄道の歴史			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	4	九州における鉄道会社の戦略			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	5	車輛の形式・番号及び駅名			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	6	旅行業と鉄道の関わり			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	7	海外の鉄道			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	8	鉄道会社の仕事			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	9	鉄道利用の旅程作成			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	10	JR各社の現況(JR東日本)			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	11	JR各社の現況(JR東海)			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	12	JR各社の現況(JR西日本)			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	13	JR各社の現況(JR九州)			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	14	私鉄の現況(関東・関西)			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	15	私鉄の現況(九州他)			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	16	鉄道の歴史テーマパーク			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	17	1日バス研修(1日、4コマ連続にて実施)			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	18	1日バス研修(1日、4コマ連続にて実施)			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	19	1日バス研修(1日、4コマ連続にて実施)			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	20	1日バス研修(1日、4コマ連続にて実施)			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	21	第3セクター・地方自治体経営			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
	22	まとめ			授業で使用した資料を復習する(0.5時間)	
23	評価試験実施			授業全体の振り返り(1時間)		

<b>評価方法</b>	(1) 定期試験(筆記)を実施する。 (2) 旅程作成を行う。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				70%
	旅程作成		◎		○		30%
<b>履修上の注意</b>	出席が16回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	海外研修						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	64時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科・1年						
授業概要	授業にて学習した旅行に関する知識を実践する機会として、また、旅行業務で必要とされる海外の文化や地理等の海外の観光資源についての理解を深め、国際感覚を養うことを目的とした研修旅行を実施						
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					該当各国・エリアの観光地や物産、文化等の観光資源を深めることができる。	
		○				該当各国・エリアの観光地や物産、文化等の観光資源を説明することができる。	
		○				エリアに応じた行程表(行動予定)を作成することができる。	
			○			計画・予定に沿って行動することができる。	
			○			団体行動を認識し、周囲に配慮して研修を修了することができる。	
テキスト・教材 参考図書	旅行パンフレット ガイドブック						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	該当各国・エリアの観光資源－自然景観の学習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)		
	2	該当各国・エリアの観光資源－観光地の学習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)		
	3	該当各国・エリアの観光資源－名産品の学習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)		
	4	該当各国・エリアの観光資源－交通網の学習(鉄道路線・航路)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)		
	5	行程表(行動予定表)－グループワークでの意見の集約			観光資源学習内容を復習しておくこと(0.5時間)		
	6	行程表(行動予定表)－グループワークでの行程表作成			意見集約内容を確認しておくこと(0.5時間)		
	7	行動表(行動予定表)－パワーポイントによるプレゼンテーション資料作成			目グループの行程表を確認しておくこと(0.5時間)		
	8	行動表(行動予定表)－グループ毎の行動予定を発表			プレゼンテーション内容の整理をしておくこと(0.5時間)		
	9	実地研修－海外旅行での添乗員業務の学習			全体スケジュールの確認をしておくこと(0.5時間)		
	10	実地研修－行動予定の実地検証			目グループの行程表を確認しておくこと(0.5時間)		
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)終了後レポートを提出する。 (2)グループごとで発表を行う。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・提出				◎		80%
	発表				◎		20%
履修上の注意	研修は希望者にて実施。						

科目名	一般教養 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の企業の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					漢字検定準2級程度の漢字までの読み書きができる	
	○					方程式・因数分解などの問題を理解し解答することができる	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる	
	○					日本をはじめとした主要国の地理や政治についての基礎的な内容を理解し説明ができる	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス説明、第3回実力テスト			次回学習部分に目を通しておく(0.5時間)		
	2	ROUND11: 漢字の知識、国際組織、英単語の知識			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	3	ROUND12: 英文和訳、国税・地方税、漢字の知識、歴史			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	4	ROUND13: 四字熟語、社会保障制度、各国の貿易 ROUND14: 方程式、各国の歴史、英語(単・熟語の知識)			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	5	ROUND14: 社会(政治・経済) ROUND15: 漢字の知識、英語(単・熟語の知識、並べ替え)、国会について			次回の確認テストの準備として「気になるニュース」について考えをまとめる(0.5時間)		
	6	ROUND11~15 確認テスト			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	7	ROUND16: 漢字の知識、歴史、図形の面積・体積			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	8	第4回実力テスト ROUND17: 日本語・英語のことわざ			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	9	ROUND17: 歴史、英文和訳、文学史			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	10	ROUND18: 経済、名数、短歌・俳句			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	11	ROUND19: 漢字の知識、英単語の知識、人口の推移			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	12	ROUND20: 漢字の知識、英文補充、歴史			次回の確認テストの準備として「気になるニュース」について考えをまとめる(0.5時間)		
	13	ROUND16~20 確認テスト			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
	14	ROUND11~20 総まとめ			テキストの該当部分の復習(0.5時間)		
15	試験対策			試験範囲の部分の復習(1.5時間)			
評価方法	(1)定期試験(筆記) (2)小テスト (3)出席状況を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○		○		80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	出席状況				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	コミュニケーション技法						
科目名(英)	Communication						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小川 果		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	コミュニケーションとは何か。よりよいコミュニケーションのために大切なことは何かを理解する。言いたいこと、言うべきことを明確に簡潔に相手に伝えることができるようにする。言語表現力を高めることにより、セルフエスティームを向上させ、新たな社会で生きていく自信をつけさせる。社会での事象への関心を深めさせ自分と社会を関連づけて考えることができるようにする。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					1対1での対話がきちんとできる。	
	○					自らの意見、考え方、価値観を開示することができる。	
		○				人の話をしっかりと聞き、考え方や価値観の多様性を理解できる。	
		○				ニュースに関心を持ち、社会的存在としての自分に気付くことができる。	
	○				自分とは何か、自分はどんな人間か、より深く考えることができる。		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会とは何かー社会とは？家庭とは？クラスとは？					
	2	何を学ぶかー何を手に入れたいか？コスト意識を持って					
	3	コミュニケーション(1)ーマナー、返事、1対1で話す					
	4	コミュニケーション(2)ー聞く、質問する					
	5	コミュニケーション(3)ー相手の話を要約する					
	6	コミュニケーション(4)ー実践報告					
	7	スピーチ(1)ー「物」を媒介にして自分を伝える①					
	8	スピーチ(1)ー「物」を媒介にして自分を伝える②					
	9	スピーチ(2)ー「言葉」を媒介にして自分を伝える①					
	10	スピーチ(2)ー「言葉」を媒介にして自分を伝える②					
	11	スピーチ(3)ー「ニュース」を媒介にして自分を伝える①					
	12	スピーチ(3)ー「ニュース」を媒介にして自分を伝える②					
	13	自己分析ーあなたはどんな人ですか？					
	14	グループディスカッション					
15	社会とは何かー社会人となるため留意するポイント						
評価方法	成績は下記の観点、割合で評価する ①出席状況を意欲点として評価 ②平常点(発表の回数)③技能点(各課題ごとに評価) 成績評価基準はS(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				◎		30%
	平常点		○		◎		30%
	技能点	◎	○				40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	Excel						
科目名(英)	Excel						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	Excel2019を使用し、表計算処理能力を身に付け、美辞根雨sの現場で必要とされるレポートや報告書の作成活用能力の向上を図ることを目的として実施する。また、表計算処理の基礎的な技能を有していることを確認するためExcel表計算処理技能認定試験3級の合格を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			Excelで表計算ができる	
			○			Excelでグラフの作成と編集ができる	
			○			Excelでデータベース処理(並べ替えや抽出)ができる	
	○					Excelで使われている正しい用語の説明ができる	
		○				Excel表計算処理技能認定試験3級に合格する	
テキスト・教材 参考図書	「Excel2019クイックマスター(基本編)」 ウィネット 「Excel表計算処理技能認定試験3級問題集(2019対応)」 サーティファイ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Excelの概要、データの種類と入力方法					
	2	簡単な表の作成			テキスト記載の実習問題1~4の表作成を完成させる(0.5時間)		
	3	表の編集(表の構成、書式設定、罫線)			テキスト記載の実習問題7~10のを完成させる(0.5時間)		
	4	セルの書式設定、絶対参照を使う計算・関数(とから選べる関数)			テキスト記載の実習問題11~15を完成させる(0.5時間)		
	5	いろいろな関数(COUNTA、ROUND類、RANK類、IF)			テキスト記載の実習問題16~18、37を完成させる(0.5時間)		
	6	スパークライン・グラフ機能			テキスト記載の実習問題20~26を完成させる(0.5時間)		
	7	データベース機能			テキスト記載の実習問題34、35を完成させる(0.5時間)		
	8	中間テスト					
	9	検定対策(練習問題1) 解説・実習					
	10	検定対策(練習問題2) 解説・実習					
	11	検定対策(練習問題3) 解説・実習					
	12	試験プログラムの使用方法・検定対策(模擬問題1) 各自演習・質疑応答					
	13	模擬試験1回目					
	14	検定対策(模擬問題2) 解説・実習					
15	期末試験実施						
評価方法	(1)検定試験と同程度の実技期末試験(2)中間テストを行う(3)授業の中で検定対策として模擬試験を実施する(4)授業内で行う実習問題を仕上げ、毎回授業の最後に課題として提出する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験実施		○	◎			50%
	中間テスト		○	◎			20%
	模擬試験		○	◎			20%
課題提出		○		◎		10%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する。						

科目名	ペン字						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	入江 陽子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	書道講師歴37年		
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	旅行業界で働く上で、日常生活における硬筆書写の一般知識・理解を深め、業務遂行時に、実践出来る基礎力を習得する。正しいペンの持ち方・姿勢を守り、書写することにより、集中力をつける						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					正しい言葉づかいで、自分の履歴書を書くことができる	
			○			書式に従って、美しい文字で書写することができる	
			○			正しいペンの持ち方・姿勢で書写することができる	
				○		集中力を持って取り組むことができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ペン字基本一氏名練習・基本点画			ボールペンの練習をしておくこと(0.5時間)		
	2	ペン字基本一基本点画、練習			氏名の練習の復習をしておくこと(0.5時間)		
	3	ペン字基本一筆順 字形の整え方(字形24体)			基本点画の復習をしておくこと(0.5時間)		
	4	ペン字基本一数字 字形の整え方(へんとつくり)			筆順の復習をしておくこと(0.5時間)		
	5	ペン字基本一平仮名の字源 練習			字形の復習をしておくこと(0.5時間)		
	6	ペン字基本一平仮名 横書きを美しく書く			平仮名の復習をしておくこと(0.5時間)		
	7	履歴書一履歴書を体裁よく書くコツ			履歴書の必要事項を調べておくこと(0.5時間)		
	8	履歴書一履歴書ペン書き 練習			履歴書の下書き仕上げをしておくこと(0.5時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で清書した履歴書を試験の代わりとして評価する。(2)出席を意欲点として評価する。以上を下記の割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	履歴書	○		◎			80%
	出席状況				◎		20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	ビジネス実務 I						
科目名(英)	Business Ability						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	榎本 美和子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行・航空業界にて接客業を経験		
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	社会人として好感を持たれる態度や話し方、社会人として求められる心構え・マナーを身に付けることを目標とする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○			○		好感の持たれる態度や話し方・聞き方ができる。	
		○		○		相手の立場になって考え行動できる。	
	○	○				適切な敬語を使えるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	「実践ビジネスマナー」ウィネット						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション・自己紹介					
	2	社会人としての心構え					
	3	身だしなみのマナー・基本動作			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
	4	会社組織の仕組み・指示の受け方と報告の仕方			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
	5	報告・連絡・相談の重要性			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
	6	言葉遣いの基本 話の仕方・聞き方			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
	7	言葉遣いの基本 敬語の基本			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
	8	言葉遣いの基本 間違えやすい敬語			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
	9	来客対応 接遇の心構え			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
	10	来客対応 受付対応・案内の仕方			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
	11	来客対応 名刺交換			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
	12	来客対応 お茶の入れ方			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
	13	電話対応 電話の受け方・伝言メモの作成			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
	14	電話対応 電話のかけ方			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)		
15	後期の補足説明			身に付けたマナーを日常生活の中で実践。(0.5時間)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)ロールプレイング 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				70%
	ロールプレイング	○	○	◎	◎		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	マーケティング基礎						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	経済新聞を使用し、各業界・各産業分野の現状分析力を養う。また情報収集のポイントや情報の整理法を学び、現在のトレンドを捉えた業務の仕方を身につける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				新聞の読み方を学び、効率のより情報収集をすることができる。	
		○				各情報の分析をすることができる。	
		○	○			情報を整理、集約することができる。	
	○	○		○		整理、集約した情報を伝えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	日経MJ新聞 日本経済新聞社						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	マーケティングとは①(基礎)			事前資料に目を通しておく(0.5時間)		
	2	マーケティングとは②(分析)			前回の復習(1時間)		
	3	経済新聞の効率の良い読み方			新聞を読み、情報をPickUpしておく(1.5時間)		
	4	収集した情報の着眼点と分析			選んだ情報の再確認(0.5時間)		
	5	情報整理の手法			情報の整理事前準備(1.0時間)		
	6	情報整理作業①			情報整理作業(1.0時間)		
	7	情報整理作業②と発表準備			発表準備、自己リハーサル(1.5時間)		
	8	成果物発表と共有			提出のための成果物最終調整(1.5時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で、筆記テストを実施する。(2)提出物(新聞スクラップノート)の完成度 (3)ディスカッションを行う 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記テスト	○	○				25%
	スクラップ帳	○	○		○		50%
	ディスカッション	○	○		○		25%
履修上の注意							

科目名	社会教養 I B						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	業界の現状や職種を理解し、将来のイメージを想像し、就職活動に向けての準備とする。社会人基礎力を身に付ける機会とし、企業研究や自己分析の方法を学ぶ。また、求職票受付面接に向けての対策時間とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○	○		社会人としての身だしなみやマナーについて理解できる。	
		○		○		業界の職種への理解を深め、将来の自分を想像することができる。	
		○	○			自己PRを文章にすることができる。	
			○	○		自己PRを自分の言葉で表現し、他者に伝えることができる。	
			○			求職票受付面接の概要を理解し、意欲を持って取り組むことができる。	
テキスト・教材 参考図書	「就職活動ガイドブック」学校法人 麻生塾						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	就職活動概要 業界の仕事～職業理解と求人傾向～			就職活動概要について復習しておくこと(0.5時間)		
	2	自己分析～これまでの自分を振り返る～			過去の経験などをまとめておくこと(0.5時間)		
	3	自己分析～長所、短所、趣味、特技等～			自己分析について考えておくこと(0.5時間)		
	4	自己分析～自己PRを作成～			文章にできるようにまとめておくこと(0.5時間)		
	5	面接試験について			面接の仕方を自分なりに考えておくこと(0.5時間)		
	6	求職票受付面接の概要			振り返りを必ずしておくこと(0.5時間)		
	7	求職票受付面接の練習(1)			質問を予測し、準備しておくこと(0.5時間)		
	8	求職票受付面接の練習(2)			質問を予測し、準備しておくこと(0.5時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)出席状況を意欲点として評価 (2)自己PRや求職票の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				◎		
	提出物	○	○	○	○		
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を付与しない。						

科目名	企業インターンシップ						
科目名(英)	Corporate internship						
単位数	2単位	時間数	80時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	トラベル科1年						
授業概要	旅行業界の現場において、実際の業務に触れることで職業観を養う。						
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					職場における敬語や言い回しを覚え、実際にお客様と会話することができる。	
		○				旅行業界用語について学び、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
			○			自ら仕事を見つけ、率先して行動することができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	実習前準備—自己紹介シートの作成					
	2	実習前研修①身だしなみや心構え				プリントを事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	3	実習前研修②業界用語の確認				プリントを事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	4	実習前研修③挨拶、緊急時の連絡方法				プリントを事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	5	各企業でのインターンシップ					
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)事前研修時に2レター・3レター・業界用語の確認テストを実施する。(2)報告書の提出。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト	○	◎				50%
	報告書の提出				◎		50%
履修上の注意	事前研修時に実施する確認テストで9割以上正解しないと、インターンシップに参加できない場合がある。						